

齊藤 勇 (2019.1.25)

一般社団法人ふじのくに文教創造ネットワーク 理事長



掛川未来創造部パレット  
*Palette*  
Since2018

子どもたちの「自主性と自発性」を最大限に尊重しながら  
先駆的なパラダイム転換を図り、部活動の原点回帰への道を拓く

掛川市で創部した地域部活とは？

## 中学校の文化部を 地域で行う部活動

本来、学校にあることが望ましい文化系の部活動を  
学習指導要領に定義されている本質に立ち返り、  
学校教育界と協働しながら、地域の産業界の支えによって、  
学校外に創設する 全国に先駆けた長期プロジェクト

### 沿革

- |          |  |
|----------|--|
| 2017年9月  | 静岡県文化プログラム 文化・芸術による地域・社会課題対応プログラムの一つに<br>ふじのくに文教創造ネットワーク企画提案「新時代の課外活動への挑戦！」が採択<br>創部に向けて本格始動 プロジェクト名：地域部活 “音楽 × 演劇 × 放送” 文化創造部 |
| 2018年2月  | 小学6年生と保護者対象の説明会を3回実施   |
| 2018年4月  | 体験入部（計6回）実施  |
| 2018年5月  | 活動開始。市内4つの中学校より、それぞれ4名・4名・4名・3名の計15名が入部。   |
| 2018年8月末 | 部長・副部長を生徒の合議で選出  |
| 2018年9月  | 部の正式名称を生徒の合議で決定 ⇒ <b>掛川未来創造部 “Palette”</b>   |

### ★子どもたちの部活を実現するための運営プログラム

- ・活動全般において、**子どもたちの「自主性と自発性」を最大限に尊重**
- ・子どもたち自身が合議のもとで活動の方向性や企画を選択する形で意思決定  
⇒ 個々の芸術分野の技術や表現方法に関する指導を、専属の顧問スタッフが補佐しながら子どもたち自身が各分野の講師に依頼する方式が基本スタイル
- ・部員の生徒個々へのインタビューを継続実施  
⇒ 個々の関心や意欲を把握し、次の活動ステージのプログラム策定へ柔軟に反映
- ・活動の節目で意欲や興味関心を引き出す動機付けのための啓発プログラムを実施  
(各種レクチャー、各種ワークショップ、ディスカッション、シェアリング等)

### ★学校の部活動や習い事で行う「表現の練習と発表」は、文化創造部全体の活動の“3分の1”

- ・「優れたアーティストの表現の鑑賞と交流」と各種文化芸術にふれる「移動教室」や各種ワークショップ等が活動全体の3分の2を占め、**従来型の「表現の練習と発表」は3分の1**  
⇒ 文化芸術を「つくる(表現する)」「みる」「ささえる」の3つをバランスより体験・学習可能

### ★学習指導要領との連動を図った中期的な活動プログラムをデザインして実施

- ・学校で学ぶ内容との関連づけを行い、相互に学習意欲の向上につながるよう工夫する。
- ・子どもたちの個性と自発的な意向を汲み取りながら、**最小単位でも3年間を一括りにした中期的な計画を立案し**、子どもたちに選択肢を提示することで、子どもたちは入部以降、**積み上げ式でステップアップできるプログラム**を実現。  
⇒ 1年単位で顧問教諭の異動の可能性があるため、毎年、同じ活動を繰り返す学校内の部活動が持つ構造的な限界を超えた体制を構築しながらプログラム開発を実施

### ★部費無料、活動日は最大で週3日を厳守 ※但し、教材費等一部実費の徴収は有り。

- ・**家庭の経済状況に関わらず、広く参加可能**  
⇒ お金の負担が少なく活動できる「学校の部活」という本来あるべき姿を取り戻す
- ・**発表前の休日返上の集中的な長時間練習は一切行わない**  
学校の部活動や各種教室等の習い事、学習塾などとの掛け持ちが可能  
(家庭内の教育費の有効配分の助けとなる)

### ★地域で「校外で行う部活動」を支えていくフレームワーク(支援体制の枠組み)の構築

- ・**掛川地域の経済界・財界に、地域部活動を一体となって支えていく支援体制を構築**  
⇒ 人的面での支援(講師、スタッフ派遣、プロボノとしての支援)  
資金面での支援(1社あたり年間で定額の協賛を複数企業に協力要請)
- ・**地域部活動の主要な活動に協賛各社の社員やその家族(子ども達)が参加可能で活動の受益者となりうるプログラムを複数回数、継続実施**  
⇒ 「優れたアーティストによる表現の鑑賞と交流」などのプログラムを中心に複数回開催

## 内容：

おもに音楽（吹奏楽を除く）、演劇、放送の3つが中心

- **音楽**（おもに合唱や歌を行う）
- **演劇**（ダンス、創作ダンス等も含む）
- **放送**（おもに朗読、アナウンス、さらに映像制作、音響操作なども含む）

※ 最初から特定のジャンルを選択して活動する形ではなく、複数のジャンルを順番に体験しながら、興味をもったジャンルを個々に深めていく契機となる形態をとる。

## プログラム：

### ① 各種（音楽、演劇、放送）表現の**練習**と プロ・アーティストや高校生と**共演する形での発表**

※ ふじのくに文教創造ネットワーク（FCN）主催公演などで、アーティストと共演する形で表現練習の成果を発表。  
その他、FCN主催の「ふじのくに子ども芸術大学」「子どもたちのためのファミリーコンサート」で短時間の発表等を行う。

#### 【平成30年度：活動事例】

- ◇ 掛川西高校吹奏楽部と共演で合唱曲「夜明け」を演奏、  
プロアーティスト・高校生と共に「ひまわりの約束」を合唱
- ◇ ふじのくに子ども芸術大学朗読体験講座の成果発表会「朗読&ピアノコラボ公演」に演劇と合唱で賛助出演
- ◇ 長尾春花コンサートや夏休みファミリーコンサートで影MCを担当
- ◇ 掛川市主催「ふじのくに野外芸術フェスタ」に市民参加の形で演劇キャストとして出演（6名が参加） など

### ② 優れたアーティストによる表現の**鑑賞**と**交流**

#### 【平成30年度：活動事例】

- ◇ ピアニスト・奥村友美による演奏の鑑賞、プログラム内でディスカッション および 交流
- ◇ ソプラノ歌手・西尾舞衣子による「日本の歌」のステージを鑑賞、終演後、お話と交流
- ◇ 朗読家・堤腰和余による「日本の物語」の朗読の鑑賞、後に、部活内の放送のプログラムで交流
- ◇ エレクトーン奏者・池谷貴恵子による演奏の鑑賞と交流

### ③ 土曜もしくは日曜を中心に地域の様々な文化資源に「**移動教室**」の形で訪問（参加体験）

#### 【平成30年度：活動事例】

- ◇ プロのオーケストラのコンサートを鑑賞（アクトシティ浜松・中ホール）
- ◇ 演劇指導講師による「一人芝居」公演を鑑賞（静岡市内開催）
- ◇ ヴァイオリニスト・長尾春花コンサートへのスタッフ協力、リハーサル見学、鑑賞
- ◇ ステンドグラス製作体験とステンドグラス美術館の見学
- ◇ 和ノ音で聴く～平家物語・竹取物語～（琵琶、箏、尺八）鑑賞（掛川市美感ホール）
- ◇ 掛川信用金庫・本部 表敬訪問（理事長講話）
- ◇ 掛川市役所・掛川市長 表敬訪問
- ◇ 掛川市主催「ふじのくに野外芸術フェスタ」の公演を鑑賞（6名出演の舞台をその他の部員が鑑賞） など

### ④ そのほか

創造体験型プログラムをはじめとした、**各種ワークショップ**や**体験講座**など

#### 【平成30年度：活動事例】

- ◇ 部活のロゴマークのデザイン制作ワークショップ 3回（講師・制作：浜松市のデザイン会社・デザイナー）
- ◇ 音楽の即興ワークショップ 2回（講師：片岡先生）
- ◇ ダンスワークショップ 2回 ※今後、実施予定

静岡県掛川市の地域部活動スケジュール 2018年5月～9月までの活動一覧

実践事例①  
P.5

回	活動日			時間	特別行事	① 練習と発表		② 鑑賞と交流		③ 移動教室		その他
	月	日	曜									
1	5	8	火	2	正式入部 活動開始		放送					
2		10	木	2			放送					WelcomePartyの準備
3		12	土	3	Welcome Party							
4		15	火	2		演劇						
5		17	木	2		演劇						
6		22	火	2		音楽						
7		24	木	2		音楽						
8		26	土	2						報徳社(見学と講話)		
9		29	火	2			放送					「夜明け」の合唱練習
10		31	木	2			放送					「夜明け」の合唱練習
11	6	2	土	2	ファミリーコンサート説明							「夜明け」の合唱練習
12		5	火	2		演劇						「夜明け」の合唱練習
13		7	木	2		演劇						「夜明け」の合唱練習
14		17	日	3				プロの吹奏楽 鑑賞	掛川西高校 訪問			「夜明け」の合唱練習
15		19	火	2		音楽						
16		21	木	2		音楽						
17		24	日	5	音楽フェスティバル参加	発表		プロ&高校生の演奏の鑑賞	音楽フェス会場(あすなろ)			「夜明け」の合唱発表
18		26	火	2	これまでの活動の振り返り		放送					副顧問・個別インタビュー
19		28	木	2	これまでの活動の振り返り		放送					副顧問・個別インタビュー
20	7	3	火	2		演劇						副顧問・個別インタビュー
21		5	木	2		演劇						
22		7	土	2	紹介ムービー説明/会議							
23		10	火	2	紹介ムービー撮影							
24		12	木	2	紹介ムービー撮影							
25		19	木	2	移動教室説明/会議							
26		22	日	2	7/29コンサート会場下見					7/29会場(あすなろ)		
27		26	木	2			放送					
28		29	日	5	ファミリーコンサート制作参加					7/29会場(あすなろ)		紹介ムービー上映
29		31	火	5		音楽 演劇						8/26賛助出演の練習
30	8	2	木	2	掛川信用金庫 理事長 講話					掛川信用金庫・本部		紹介ムービー上映
31		7	火	2	掛川市長・表敬訪問					掛川市役所(市長)		紹介ムービー上映
32		9	木	5		音楽 演劇						8/26賛助出演の練習
33		11	土	3		演劇		ピアノ 鑑賞と交流				8/26賛助出演の練習
34		19	日	6	長尾さんコンサート協力			ヴァイオリン鑑賞と交流				コンサートスタッフ協力
35		21	火	5		音楽 演劇						8/26賛助出演の練習
36		23	木	5		音楽 演劇	放送					8/26賛助出演の練習
37		26	日	5	子ども芸術大学 出演・協力	発表 発表		朗読&ピアノ 鑑賞	子ども芸術大学 コラボ公演			公演 会場スタッフ協力
38		28	火	2	8/26公演参加 振り返り							
39		30	木	2	会議							部長・副部长選出
40	9	6	木	2	会議		放送					部の正式名称 決定
41		11	火	2	会議							係・役割分担、ルール検討
42		13	木	2	ワークショップ/会議							デザイン制作ワークショップ
43		15	土	5				浜松フィル演奏会鑑賞	アクトシティ浜松			

実践事例②  
P.6

P.5 ⇒ 実践事例① 音楽・演劇・放送の各アプローチを活かした未来創造部ならではの表現プログラム

P.6 ⇒ 実践事例② 未来創造部の活動の3つの柱 それぞれを織り交ぜながら実施した複合プログラム

【表現内容】 合唱曲「夜明け」を掛川西高校吹奏楽部の高校生と共演して歌う

作詞：旭川商業高校吹奏楽部平成10年度卒部生一同 作曲：八幡映美（同部の部員）

※平成10年度の同部卒部式で顧問教諭にサプライズで歌ってプレゼントしたオリジナル作品。

【実践内容】

(1) 音楽（2回） ⇒ ソプラノ、アルト、男声の各パートに分けて音取り

(2) 放送（2回） ⇒ 「夜明け」の詩を朗読体験



(3) 演劇（2回） ⇒ 「夜明け」の作品が誕生した実話を演劇で再現



(4) 移動教室 掛川西高校を訪問



(5) 音楽（2回） ⇒ 合唱の響きとハーモニーに磨きをかける



(6) 本番 ⇒ 6月24日 フェスティバル  
共演：掛川西高校吹奏楽部  
大勢の一般のお客様の前で  
全員で初ステージを体験



### 書籍紹介 掛川未来創造部Palette 実践事例

← 昨年10月発行・部活動改革の書籍の中で、掛川未来創造部 Palette の上記事例（実践事例①）の詳細が10ページにわたって掲載。

書籍：「部活動改革2.0 文化部活動のあり方を問う」

編著：長沼豊 学習院大学教授、日本部活動学会会長

文化庁「文化部活動のあり方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」座長

発行：中村堂

※ 同書籍の「第3章 文化部活動の実践とその課題」の「第7節 静岡県掛川市の地域部活動の取り組み」で上記の事例を紹介

**【概要】** ベートーヴェンの伝記（ロマン・ロラン作）の朗読と  
ピアノ演奏（ベートーヴェン作品）によるコラボ公演へのゲスト出演と  
プロのオーケストラによるベートーヴェンの交響曲のライブ演奏を鑑賞

**【実践内容】**

(1) 演劇（5回）& 音楽（4回） << ① 表現の練習と発表 >>

⇒ 夏休みのため、午前・午後で同日に実施（ゲスト出演者は希望を募って決定）

演劇：希望する部員の人数に沿ったオリジナル台本を作成、読合せから始める。  
演出は、プロの俳優の担当講師が指導。

音楽：合唱曲「心の中にきらめいて」（途中、ベートーヴェンの悲愴ソナタの旋律が登場）  
希望者は女子のみだったため、全員でソプラノパートを歌った。

(2) 特別講師によるピアノ演奏の鑑賞 << ② アーティストの表現の鑑賞と交流 >>



ベートーヴェンの名作のピアノ演奏を間近で体感。  
演奏の合間にピアニストから作品の解説を聞いたり、  
部員個々が演奏を聴いて感じたイメージを  
ディスカッションしたりしながら交流を行った。

(3) 生徒による世界史に関するレクチャー



歴史が好きな生徒が、夏休みに図書館で自習した内容を  
部員みんなの前でレクチャーを行った。  
フランス革命やナポレオンなど、ベートーヴェンと  
直接関わる世界的な出来事について、みんなで学んだ。

(4) 放送（1回）朗読（伝記）の台本の内容をプロの朗読家の語りで聞く。<< ② 鑑賞 >>

(5) 本番 演劇と合唱の発表（ふじのくに子ども芸術大学の発表会にゲスト出演） << ① 表現の練習と発表 >>



朗読&ピアノコラボ公演「ベートーヴェンの生涯と  
音楽」にゲスト出演の形で、演劇と歌を披露。  
朗読家、ピアニストといったプロアーティストと  
朗読の講座の受講生の小中学生と共演した。。

(6) 移動教室 プロのオーケストラの演奏を鑑賞 << ② 鑑賞 >> & << ③ 移動教室 >>



移動教室の前に、生徒有志によるオーケストラの  
基礎知識に関するレクチャーを行った後、  
朗読や演劇の中に登場したベートーヴェンの  
代表作「交響曲第5番“運命”」をプロのオーケストラの  
演奏で鑑賞。本番の公演で共演した朗読の受講生と  
一緒に交流しながら、移動教室を行った。

指導目標：

- ★感性が豊かな子どもたちの育成（シンプルに感動できる心）
- ★多様性を尊重できる寛容な子どもたちの育成
- ★主体性と協調性（自己発信力とコミュニケーション能力）の育成
- ★先人が築いた文化的遺産に感謝しながら、新たな文化を創造する姿勢の育成
- ★地域とつながることで、文化資源や産業を有する地域に対する誇りや愛着心を育む

講師・スタッフ： ※平成30年度11月現在

芸術監督：佐藤 真澄（掛川西高校教諭、音楽教諭）

音楽指導：萩原 順子（メゾソプラノ歌手）

演劇指導：横山 央（SPAC俳優、掛川市出身）

演劇指導：関根 淳子（SPAC俳優）

放送指導：堤腰 和余（朗読家）

特別講師（参加アーティスト）：奥村 友美（ピアノ） 西尾 舞衣子（ソプラノ） 池谷 貴恵子（電子オルガン）

顧問 兼 プログラム・デザイン開発：齊藤 勇（FCN理事長）

副顧問：大村 容子、山本 捷子、岩谷 久美子（元・中学校や小学校教諭 など）

活動拠点：

掛川市美感ホール、掛川市生涯学習センター リハーサル室 および 会議室 等

活動日：

平日：火曜と木曜の週2日、週末：月に2～3回（土 or 日の隔週を基本） 主に移動教室 等

※活動時間：平日は、放課後、夕方～夜にかけて 2時間

週末は、午前か午後のいずれか、2～3時間程度（基本）

夏休みなど長期休業中は、午前・午後の活動もあり。

地域部活 掛川未来創造部 Palette

主催：ふじのくに文教創造ネットワーク 共催：静岡県文化プログラム推進委員会



地域部活  
掛川未来創造部 Palette

いま学校の部活動の在り方の見直しが進む中、多様な文化芸術を体験可能な新しい選択肢を提供する形で、全国に先駆けて本年度より創部した、学校の外で行う文化系の部活動（地域部活）です。現在、掛川市内の4つの中学校から15名の1年生が在籍し、音楽・演劇・放送を中心に多彩な活動をしています。



地域部活サイト  
QRコード⇒



2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、オリンピック憲章で開催が定められた「文化プログラム」が、日本全国で展開されます。静岡県文化プログラム推進委員会は、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題対応を目指して、様々な団体等との協働による取組を進めています。

静岡県文化プログラム公式サイト QRコード⇒



主催者 連絡先

FCN事務局 E-mail : info@fuji2010.net

Tel. 0537-28-7380 携帯 090-1755-3602

【公式ホームページ】 <http://www.fuji2010.net/>

ウェブ検索 ふじのくに FCN 検索